

計画の 実現に向けて

現状と 課題

● 地方交付税の削減、税収の伸び悩みなど厳しい財政状況が見込まれ、さらに地方分権などが進む中で、第5次総合振興計画を的確に進めていくためには、安定的・効率的な行財政運営や生産性の高い組織づくりなどを進めていくことが必要です。

● 行財政改革については、平成17年度から「第3次芦屋町行政改革大綱」を定め、その具体的取り組みとして「芦屋町集中改革プラン」を推進し一定の成果を得ています。さらに、平成22年度からは「芦屋町集中改革プラン」第2ステージの取り組みを進めており、今後とも健全で持続可能な行財政運営を確立することが課題です。

● 競艇事業については、平成22年度から芦屋町単独施行となり、発売日数の増や場外発売場の増設、全国初となるモーニングレースの実施など売上向上に取り組んでいます。長引く景気の低迷などにより経営状態は厳しいものとなっていますが、町財政に寄与することができるよう経営改善に取り組むことが重要です。

● また、「芦屋町人材育成基本方針」に基づいた職員資質の向上、簡素で効率的な組織とするための組織機構の見直しなどを実施してきましたが、地方分権などに対応する職員の育成や生産性の高い組織づくりのためには、目標管理による人事評価や組織運営が課題です。さらに、効率的な組織運営のため、電子自治体や地域情報化の推進なども課題です。

● ごみ処理、消防、火葬施設の運営などを実施している遠賀・中間地域広域行政事務組合については、効率的な運営についての提言を関係市町と共同で行うとともに、周辺自治体と共同処理できる事業などについては、調査研究を進めていくことが必要です。

また、国や県、周辺自治体の動向に留意しつつ、合併について研究を進めておくことが必要です。

健全で持続可能な行財政運営を行います

- ・平成22年度から26年度を計画期間とする行財政改革の具体的な取り組みである「集中改革プラン」第2ステージを推進します。
- ・職員定員計画を策定し、職員の適正化を図ります。
- ・各種使用料や税の徴収率の向上を図ります。

競艇事業の売上向上や経営改善を進めます

- ・発売日数の増加や新規ファンの獲得などを進め、売上を向上させます。
- ・民間委託などを進め、経営改善に努めます。

職員の育成や資質向上を図ります

- ・芦屋町人材育成基本方針に基づき、職員研修などを充実します。
- ・新たな人事評価制度を取り入れ、職員の能力開発を推進します。

柔軟で生産性の高い組織づくりをめざします

- ・組織ごとに目標を掲げ、目標管理による組織運営を図ります。
- ・地方分権や住民ニーズに適応した柔軟な組織の見直しを検討します。
- ・電子自治体や地域情報化を推進します。

広域連携を進めていきます

- ・遠賀・中間地域広域行政事務組合の効率的な運営について、構成市町とともに提言します。
- ・他の地方自治体と電算システムの共同利用を進めます。
- ・情報発信や活性化のため、福岡県とともに推進している遠賀・中間広域連携プロジェクトを進めます。
- ・周辺自治体と共同処理できる事業について調査研究を進めます。